

# データ×サイエンス×ビジネス

～ AI・デジタルで社会を変える ～

日時

平成31年3月6日(水)

フォーラム 13:45～17:20(受付開始 13:20)  
(交流会 17:30～)

会場

ハイアットリージェンシー福岡 ボールルーム

(福岡市博多区博多駅東2-14-1)

参加費

無料 [交流会 : 3,000円]

製造、流通、交通・サービスなど各業界の第一線で活躍されている企業の方々から、どのように「データを利活用」しているのかについて、また、大学・研究機関等の研究者から、「データサイエンス」や「AI・データ分析」における教育や社会実装、これからの展望などについて、最新の話題・動向をご提供頂きます。

## プログラム



講演 1

「ピンチはチャンス!～山口の山奥の小さな酒蔵だからこそできたもの～」

旭酒造株式会社

会長 桜井 博志 氏

講演 2

「実店舗小売企業のデジタルトランスフォーメーション挑戦事例」

株式会社トライアルホールディングス

取締役副会長 西川 晋二 氏

講演 3

「異業種との事業連携とICT・AIの活用で次世代の公共交通を創る」

西日本鉄道株式会社 自動車事業本部

計画部計画課長 阿部 政貴 氏

講演 4

「オープンサイエンス & オープンエデュケーション with オープンマインド:九州大学におけるデータサイエンス教育」

国立大学法人 九州大学 大学院システム情報科学研究院

主幹教授 内田 誠一 氏

講演 5

「イノベーション加速時代の未来戦略」

国立研究開発法人 理化学研究所 生命機能科学研究センター チームリーダー 高橋 恒一 氏

取組み紹介 ……金融機関・参画機関などの支援施策・取組み紹介等

主催 九州大学、理化学研究所、福岡市、九州先端科学技術研究所(ISIT)、ふくおか産学共創コンソーシアム

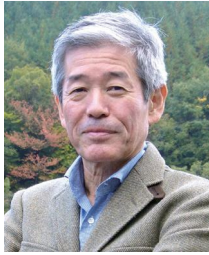
共催 九州大学学術研究都市推進機構

参加申し込み方法 申込みは受付フォーム(<http://go.isit.or.jp/fukuoka0306>)  
または メール [fukuoka0306@isit.or.jp](mailto:fukuoka0306@isit.or.jp) で受け付けます。

◎メールでお申込みの際は、講演会・交流会の出欠、並びに必要な事項[氏名、フリガナ、所属・役職、所在地、メールアドレス、電話番号、FAX番号(任意)]の記載をお願いします。



## 講演 1 データ × 製造



旭酒造株式会社

さくらい ひろし  
会長 **桜井 博志** 氏

山口の山奥の小さな酒蔵である旭酒造。酒造りの工程をマニュアル化・数値化し、手作業と機械化をうまく使い分けることで高品質の日本酒を安定して生産することに実現しました。本講演では、日本酒「獺祭(だっさい)」が純米大吟醸の販売量で日本一となり、アメリカやヨーロッパなど、世界24の国と地域への輸出拡大を果たした体験、逆境をチャンスに変えて成功した体験談をご紹介します。

## 講演 2 データ × 小売



株式会社トライアルホールディングス

にしかわ しんじ  
取締役副会長 **西川 晋二** 氏

市場が大きく減少する中で、流通小売業として何を行うのかということの研究していかなければなりません。インターネット通販では全ての顧客行動がデータ化されており、その蓄積を戦略に生かしていますが、同様のことをリアル店舗でも実現することができると考えています。本講演では、データによるイノベーションを実現する、実店舗での様々な取組み事例をご紹介します。

## 講演 3 データ × 交通



西日本鉄道株式会社  
自動車事業本部

あべ まさき  
計画部計画課長 **阿部 政貴** 氏

慢性的な運転手不足や地方部の収益性低下など、バス交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。高齢化社会、人口減少時代においても公共交通を維持するためには、他交通モードや異業種との連携が不可欠です。とりわけ最新のICT技術を活用したバス運行効率化や多モードの移動情報提供サービスなどは、市民や観光客の移動に劇的なプラスの変化をもたらす可能性があります。本講演では当社が取り組む次世代バス事業の一部をご紹介します。

## 講演 4 データ × 教育



国立大学法人 九州大学  
大学院システム情報科学研究院

うちだ せいいち  
主幹教授 **内田 誠一** 氏

文理を問わないあらゆる学問分野において、研究成果の客観性、定量性、再現性を担保するために、データ解析が必要となってきたおり、九州大学のような総合大学では、全ての学生に対し、データ解析の素養を教育する必要があります。本講演では、このデータ解析に関する「全分野横断・全学年縦断」型の教育について、九州大学の様々な試みをご紹介します。

## 講演 5 データ × 社会・未来



国立研究開発法人 理化学研究所  
生命機能科学研究センター

たかはし こういち  
チームリーダー **高橋 恒一** 氏

過去の産業革命の核心を原動機による肉体労働の自動化とすると、現在進行中のデジタル・AI新産業革命の本質は知的労働の自動化にあります。知的労働の最たるものの一つは科学研究であり、これを効率化・自動化する技術体系の波及効果は製品開発、企業経営や行政にまで及ぶ可能性があります。本講演では、ロボットによる生命科学実験の自動化やAIによる仮説生成・実験計画の自動化などの取組みをご紹介します。

### 会場へのアクセス

JR博多駅筑紫口、または、  
地下鉄博多駅東6番出口より徒歩7分

